

ませんと、かへつてない方が、遙に、まさつて居る様になりますから、とくに、友を作らぬ様にし居る方のあるのは、これも、一の主義でありませす。けれども、普通以上の友達を得ることが出来るといたしますれば、相互に遊嬉して居ります間に幼児は、自然の制裁を受けます。同じ様な権力の幼児同志が遊んで居りますと、快して我が意を通りばかりも振舞ふことは出来ませせん。例へは、ここに、一の玩具があるといたします。自分獨りなれば、いつも、獨りで 占領して居ることが出来ませす。けれども、他に友達があれば、そう、獨りで占領して居ることは出来ませせん。斯様な處からだん／＼我意を抑へるべき場合のあることを知りてまゐりまして、我儘が小くなります。若し、これが、めしたの者の幼児で、何事も、我意に従て

居る様な友達では、何の効もありませんで、害になります。斯様な點から、兄弟と共に遊ぶことの出来る幼児は仕合でこさいませす。其他同年齡の幼児と遊ぶことは、幼児自然の状態をあらはして、活動することが出来ませすから、老人ぢみる患はありませせん。從て老人ばかりを友達として居る時はど、柔弱に陥ることもありません。

前に申した召使や、老人に對しては 外に、色々のしかたもありませすが、いま、申した友達を作るといふことは、與へて良い自然の良境遇であるとおもひませす。しかしよく／＼注意に注意を加ふべきことは、よい友達を撰むこととこざいませす

### 救急處置

醫學士

長瀬復三郎

救急處置といふのは其字の示す如く、卒然に急患者の出來た時、又は不意に負傷人のあつた時、又は平生病氣の人が急に發作を起した場合などに醫者の療治を受ける迄に臨時適當の手當をして患者を救ひ、又醫者の治療上にも妨げのない様にすること、其救急處置をする場合は種々あります。

●人事不省。これは非常の驚愕、恐怖、突然の腦貧血及充血、中毒、心臟の突然の衰弱、等の場合に起るもので、其有様は顔面が蒼白となり、又時として赤くなり、目をつり上げ、足もと不確で精神が朦朧となり、外氣の刺激に感ずることが出來ぬのであります。此の場合には先づ患者を靜かな所に移して、室内であれば窓戸を開いて新鮮な空氣を流通させ、次に患者の衣帶を解いて身体の上部を呈はして呼吸を樂にし、又冷水を顔面に吹

きかけ、又皮膚を摩擦して上半部の血行を盛にさせるのであります。而して人事不省となつた場合に、顔色の蒼白なのと赤いのとありますが、蒼白なのは腦貧血、赤いのは腦充血でありますから、腦貧血の時は枕を低くし、腦充血の時は枕を高くして冷すのであります。又呼吸のせまつた時はアンモニア水ホータン、ハツカ水などを鼻の中にいれて、刺撃によつて呼吸を催すのであります。此の人事不省は時としては二三日も經くことがあります。これは醫者の部分に屬する事で、救急處置としてすべきことは呼吸と血行を盛にする様にとつとむることです。斯様にして氣の付きたる上は葡萄酒、茶、珈琲等を用ひて心臟の作用を盛にし神經を鋭敏にすることが大切であります。こゝに注意すべきことは小兒の癩癩の時でありま

す。此の時は稀には舌を舐む恐れがありますから  
 余程氣を付けなければなりません。又無人の場處  
 にて小兒の癩癩發作は火傷創傷を受ける事かある  
 甚だ注意を要します。この時は只靜に休ませて置い  
 て目醒めた後に興奮劑を與へるのでございます。  
 出血の甚しい時には虚脱の有様に進むことかあ  
 ります。これは小兒に少くて大人に多いことで、  
 大出血、大手術、及出産なとした後に起るのであ  
 ります。顔色は蒼白となり、手足は冷却し、脈搏  
 も呼吸も弱くなります。此の時は能く皮膚を摩擦  
 して、興奮劑を與へ、出血をとめて、醫者の來  
 るのを待つのでございます。

又驚愕、恐怖等でなく窒息のために人事不省と  
 なる事があります。小兒のデブデブリアにかゝつた  
 時又小兒大人共喉頭に腫物の出來た時には呼吸を

妨げられ、自己の炭酸中毒のために人事不省とな  
 り、精神昏朦の有様に陥ることがあります。此の  
 時は速に醫の手を待たなければなりません。又病  
 氣のためでなく、火事の時に烟にまかれ、土、雪  
 水の中に埋められ或は溺れて窒息することかあり  
 ます。又小さな室に炭火を盛に燃やして、多人數  
 の集つて居る時に室内に出來る有毒なる瓦斯のた  
 めに窒息することがあります。又炭酸瓦斯の中毒  
 は深井の中で起ることもあります。この場合に窒息  
 者を救ひ出す人は余程注意しなければなりません。  
 直に其の深井に飛び込むとは危険であります。  
 よく風を送り、其上で、燭燭に火を點して其深井  
 の中にさし入れ、其火の消否を見て火の消えぬ様  
 になつて初めて入らなければなりません。又室内  
 で突然炭酸瓦斯中毒のものが出來た時には、直に

他の室に移さなければなりません。水に溺れ、烟にまかれて卒倒した場合には其人を水又は烟の中から取出した後直に人工呼吸法を行はなければなりません。水に溺れた人は溺死後一時間程の内なれば之を救ふことが出来ます。即ち斯様な場合に逢ひました時はまづ第一に溺死者を仰臥せしめ、平手を胸に押し、潤れた布で胸を打ち、之をうつむけにして胃部を壓して水を吐かせます。次に人工呼吸法を行ひ尚蘇生せぬ場合には興奮剤を用ゐます。又溢死した場合には其溢死して居る儘で其溢死に用ゐた紐を切り去つてはなりません。必ず誰か其人を抱き支へなから紐を切り、後人工呼吸法を行ふのでございます。

(未完)

昔今 いろは料理

石井泰次郎

三十四

(む)

むし茄子の拵方

なすびを洗ひて、丸ながら紙に包みて、水に浸して、火の中の炭の内に埋めて、蒸焼にして、能く焼たるを計りて、取出し、其まゝ水にとりて、紙を去りて、へたを切りさりて、たてにさきて、生醬油、酒すこしを加へて煮かへしたるを冷して、茄子にかけて食すべし、わり蕃椒を其汁の中にまぜてよし

眉毛餃の拵方

これは支那料理のこしらへ方なり、まづ白玉粉を湯にてこねて、大がた鹽煎餅ぐらゐに丸くして、成たけらすくのぼし、この内に乾海老のよろしき